

## 【とうきょう すくわくプログラム活動報告書】

園名:すぎなみのぞみ保育園(1歳児クラス)

活動日時:2026年5月26日(火)

### 1. 活動テーマ

<テーマ>

園外の施設の広場でコンビカーにまたがったり、  
押して歩いたりする。

<テーマ設定理由>

コンビカーをまたぐ・床を蹴って進すすんだり、バランス  
を取りながらすすんだりする・押して歩いたり走ったりす  
る等、様々な足の動きを観察することができるため。

### 2. 活動スケジュール

- ・桃井児童館に行く。
- ・広場やコンビカーを借りる。
- ・十分に遊ぶ時間を確保する。

### 3. 活動の為に準備した素材や道具、環境の設定

準備物:園外施設のコンビカー、手押し車

環境設定:桃井児童館に行く機会を設ける、早め  
に園を出て遊ぶ時間を確保する。

### 4. 探究活動の実践

<活動内容>

コンビカーを用意する。使い方が分からない子もい  
ることを想定し、保育者がコンビカーにまたがり床  
を蹴ってすすむ姿を見せる。コンビカーのみではな  
く、人数分の玩具を確保するため、手押し車も用  
意する。もう一方の保育者は、子どもの反応に合  
わせて手助けや楽しい気持ちに共感して声掛け等  
をする。

## <活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

活動の最初の子どもの姿では、コンビカーに興味を示しましたがろうと足をあ  
げる子、興味はあるもののどのように遊ぶか分からず手押し部分やイラスト  
部分を触る子、少し気にはするが室内の広さのほうに気がなり室内を走り  
回る子、手押し車が気に入って手放さない子と様々な姿が見られる。

活動中、またがろうとする子には、保育者が手助けしまたがらせると、足で  
床を蹴ることはなく、まずは乗ることに満足する姿である。満足すると降りよ  
うとするので手助けして降ろす。



遊び方が分からない子にも同様に保育者が手助けしてまたがらせようとす  
ると、のけぞり嫌がる子もいる。その為、手押し部分を押し動作を見せると  
やってみようとし、押して移動することを楽しむ。保育者や友だちが手押し部  
分を押している姿を見て、自分もやってみようとして自ら遊び始める子もいる。押  
して歩くことに慣れると、走りだして楽しんでいる。

中には、コンビカーや手押し車のタイヤ部分が動く様子が気になり、しゃが  
んで観察をする子もいる。

室内を走り回ることが中心な子も、興味がないわけではない様子でコンビカ  
ーに触れたりイラスト部分を見たりしているが、またがることは嫌がり押して  
遊ぶ姿は見られない。

関りとしては、友だちが楽しそうにする姿を見てやってみようとする姿が多い  
と感じる。保育者は手助けする人、コンビカーに乗り一緒に楽しむ人と分担  
し、それぞれ子ども達と関わる。

### 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

初めての園外施設の利用や、初めてクラス活動としてコンビ  
カーで遊ぶ経験のため、様々な表情や遊び方が見られると  
予想をしていた。テーマには入ってないが、中にはコンビカー  
に親しみを持つ子もいて足で床を蹴ってすすんで遊ぶ子もい  
るのではないかと考えていた。実際に遊んでみると、またが  
ることに満足して降りる姿や、手押し部分を押し歩いたり走  
ったりすることを楽しむ姿が見られ、予想外の姿に驚きがあ  
った。今回の子どもの姿から、足裏の感覚・全身のバランス  
感覚や使い方等の様々な経験を経て、足で床を蹴ってすす  
む感覚も掴んでくるのではないかと感じた。